

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成30年2月15日 (2018.2.15)

【公開番号】特開2016-82520(P2016-82520A)
 【公開日】平成28年5月16日 (2016.5.16)
 【年通号数】公開・登録公報2016-029
 【出願番号】特願2014-214808(P2014-214808)
 【国際特許分類】

H 0 3 F 3/34 (2006.01)

H 0 3 F 3/21 (2006.01)

【 F I 】

H 0 3 F 3/34 C

H 0 3 F 3/21

【手続補正書】
 【提出日】平成29年11月29日 (2017.11.29)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

オペアンプに負帰還抵抗、正帰還抵抗を備え、前記オペアンプの反転入力に第 1 抵抗を備え、前記オペアンプの非反転入力に第 2 抵抗を備え、前記第 1 抵抗の前記反転入力とは反対側の端子を電圧入力端子とし、前記第 2 抵抗の非反転入力とは反対側の端子を基準電位に接続し、前記オペアンプの非反転入力を電流出力端子として形成され、（前記基準電位と前記電流出力端子との間に）負荷を着脱容易に接続可能な電流駆動回路に於いて、前記基準電位と前記電流出力端子とを電氣的に接続する経路に予め設けられた抵抗素子を備えることを特徴とする電流駆動回路。

【請求項 2】

オペアンプに負帰還抵抗、正帰還抵抗を備え、前記オペアンプの反転入力に第 1 抵抗を備え、前記オペアンプの非反転入力に第 2 抵抗を備えた請求項 1 に示すオペアンプ回路に於いて、前記第 1 抵抗の前記反転入力とは反対側の端子を基準電位に接続し、前記第 2 抵抗の非反転入力とは反対側の端子を電圧入力とし、前記オペアンプの非反転入力を電流出力端子として形成され、（前記基準電位と前記電流出力端子との間に）負荷を着脱容易に接続可能な電流駆動回路に於いて、前記基準電位と前記電流出力端子とを電氣的に接続する経路に予め設けられた抵抗素子を備えることを特徴とする電流駆動回路。